

<b>〔科目名〕</b> 卒業研究	<b>〔単位数〕</b> 4単位	<b>〔科目区分〕</b> 卒業研究科目				
<b>〔担当者〕</b> 野坂 真		<b>〔授業の方法〕</b> 演習				
<b>〔演習テーマ〕</b> 「地域の個性を生かした地域づくり:3年間学んできたことを卒業論文にまとめる」						
<b>〔演習内容〕</b> 2・3年次に行ったフィールドワークなどで学んだこともふまえて各自の研究テーマと自分の調査したい・関わりたい地域を確定し、卒業研究に向けた調査を各自行ってもらう。そのために、先行研究の文献調査の結果や対象地域での調査の進捗状況を定期的に発表してもらい、ディスカッションを行う。本年度の研究成果について秋学期開始時点までに中間報告を行うこと、そして卒業論文等にまとめた上で12月の提出期日までに十分に指導教員から指導を受けることを必須とする。						
<b>〔科目の到達目標〕</b> 3年次と比較して、以下の能力がさらに身につく。 (1) 社会調査倫理を身につけた上で、具体的な地域でどのような課題が、なぜ起こっているか、客観的かつ多面的に調べ分析することができる。 (2) 具体的な地域で生じている課題への向き合い方や関わり方を、地域の個性と自分の能力をマッチングさせる形で考え、行動に移すことができる。 (3) 組織的にコミュニケーションを取り、行動する能力を身につける。 (4) 具体的な地域で行った調査や実践の結果をまとめ公表することで、情報リテラシーやプレゼンテーション能力や学術的な文章を書く能力を身につける。						
<b>〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕</b>						
学部				学科		
DP1	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3
<b>〔前提条件〕</b> ・授業中は、自分が考えたこと、他の学生や講師からの発言で重要と感じたことなどは、忘れないうちにノートなどにまとめておくこと。 ・研究指導を伴う調査・実践を行うため、講師とコミュニケーション(報連相)をよく取り合って参加すること。 ・授業中にエクセルでのデータ処理やワードでの原稿執筆などの具体的な事務作業が生じることもあるため、オフィスソフトがインストールされ、かつタイピング可能なノートPCやタブレット端末などの情報端末を毎回授業に持参すること。 ・授業時間外にも、調べものや報告の準備など、各自多くの作業時間を要する。個別でのフィールドワーク等を行うため、長い調査期間や複数の調査回数を設定する必要がある。各自、研究や調査に費やす時間を十分確保できるようにスケジュール管理をすること。 ・学外の人々と関わり合う場面では、大学の看板を背負っているという責任感と、学ばせていただいているという謙虚さを常に持って行動すること。						
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> ・ゼミ内での報告のために作成した資料と報告の内容、ディスカッションでの発言の内容(着眼点の鋭さ、調べものの的確さなど) = 40% ・最終成果物の内容(検討方法や検討結果の妥当性など) = 60%						

※公欠は本学の基準に従う。

※中間報告など指導教員から指示された研究報告を行わない場合、最終成果物を提出しない場合、卒業研究に向けた調査を実施しない場合、いずれも単位は取得できない。

※単位 A、B、C、D、F いずれかになるかを判断する基準は大学による基準にもとづく。

#### 【教科書等】

教科書と指定図書は特になし。以下、参考書を挙げる。

文貞實・山口恵子・小山弘美・山本薫子編著『社会にひらく 社会調査入門』(ミネルヴァ書房)2023年

谷富夫・山本努編著『よくわかる質的社会調査法 プロセス編』(ミネルヴァ書房)2010年

佐藤郁哉著『社会調査の考え方 上・下』(東京大学出版会)2015年

佐渡島紗織・吉野亜矢子(2021)『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』ひつじ書房

2025年度「知の挑戦 I」の調査報告書(非売品、授業の第1回で配布)

\*そのほか、各自の研究テーマに関わる重要な先行研究を適宜提示する。

#### 【実務経歴】

なし。

#### 授業スケジュール

\*受講者の理解度や実際の作業の進捗などにより各回の内容や順番が変更となる可能性あり

時期	テーマと内容
春学期	テーマ:先行研究の精読や調査対象地に関する事前調査、フィールドワークの準備と実施 内容:重要な先行研究の概要を紹介するとともに自分の研究にどのように使えるかや調査対象とした地域の基礎情報を受講者各自から共有する、受講者各自で卒業研究に向けたフィールドワークを企画・準備し実施する、受講者各自でフィールドワークの進捗や成果をまとめてゼミ内で共有し次回以降のフィールドワークに生かす、等
夏季休講期間	テーマ:さらなるフィールドワークの準備と実施、調査記録の作成とデータベース化 内容:受講者各自で卒業研究に向けたフィールドワークを継続的に企画・準備し実施する、受講者各自で文字起こし記録や観察記録や写真などをまとめてデータベース化しておく、受講者各自でお礼状を作成し発送する、等
秋学期前半	テーマ:調査結果のとりまとめと中間報告、補足調査としてのフィールドワークの準備と実施 内容:受講者各自で調査から分かったことやそこから言えることを中間報告としてまとめゼミ内で共有する、中間報告へのフィードバックをもとに補足調査としてのフィールドワークの準備し実施する、等
秋学期後半	テーマ:調査協力者への原稿内容の確認、卒業論文等の作成 内容:受講者各自でこれまでの調査結果を成果物としてまとめ調査協力者へその内容の確認を依頼する、受講者各自で卒業論文等を作成しその内容をゼミ内で最終報告する、等